

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 横浜魚類株式会社  
 コード番号 7443 URL <http://www.yokohamagyorui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 石井 良輔  
 (氏名) 塚本 秋宏

TEL 045-459-3800

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	11,414	32.4	△51	—	△11	—	△19	—
21年3月期第1四半期	8,621	△7.4	△36	—	25	△14.0	26	417.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△3.16	—
21年3月期第1四半期	4.30	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	6,070	1,698	28.0	271.13
21年3月期	6,209	1,720	27.7	274.58

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,698百万円 21年3月期 1,720百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	3.00	3.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	24,000	42.0	△40	—	30	—	10	—	1.60
通期	50,660	24.1	85	—	223	298.2	143	—	22.82

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	6,290,000株	21年3月期	6,290,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	24,519株	21年3月期	24,519株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	6,265,481株	21年3月期第1四半期	6,269,743株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、一部に持直しの動きがみられるものの、雇用悪化には歯止めがかかっていない等、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

水産物流通業界におきましては、景気悪化による消費者の低価格指向等により水産物に対する需要は減少し、大変厳しい状況となりました。

このような状況におきまして、当社は昨年12月川崎魚市場(株)を合併し本業の拡大と効率化をはかってまいりましたが、売上拡大は実現できましたが、本業の効率化は実行中であり収支の回復には至りませんでした。

売上高につきましては、主として川崎魚市場(株)の合併により、11,414百万円(前年同期比32.4%増)と増収になりました。

損益につきましては、売上増による売上総利益の増加はありましたが、物流費等諸経費が増加したことにより、営業損益は51百万円の損失(前年同期 営業損失36百万円)となりました。

営業外損益は、負ののれん償却額25百万円を営業外収益に計上しましたが、受取配当金が51百万円減少したこと等により、前年同期より悪化したため経常損益は11百万円の損失(前年同期 経常利益25百万円)となりました。

最終損益は税負担の増加があり19百万円の損失(前年同期 四半期純利益26百万円)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債・純資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は前期末比139百万円減少し、6,070百万円となりました。

#### ①資産

流動資産は前期末比137百万円減少し、4,089百万円となりました。これは主として現預金が136百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前期末比1百万円減少し、1,980百万円となりました。

#### ②負債

負債は前期末比118百万円減少し、4,371百万円となりました。これは主として短期借入金が300百万円減少し、買掛金が238百万円増加したことによるものです。

#### ③純資産

純資産は前期末比21百万円減少し、1,698百万円となりました。これは主としてその他剰余金が38百万円減少したことによるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月20日の平成21年3月期決算短信に開示しました業績予想を変更しておりません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### ②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	303,487	439,959
受取手形及び売掛金	2,893,435	2,990,431
商品	1,007,502	930,610
前払費用	14,736	5,046
繰延税金資産	51,548	57,883
その他	110,427	95,905
貸倒引当金	△291,834	△292,570
流動資産合計	4,089,303	4,227,268
固定資産		
有形固定資産	789,752	807,626
無形固定資産	20,183	20,857
投資その他の資産		
投資有価証券	441,696	421,323
関係会社株式	86,380	86,380
破産更生債権等	307,257	301,010
繰延税金資産	442,788	446,596
その他	163,224	168,262
貸倒引当金	△270,461	△269,510
投資その他の資産合計	1,170,885	1,154,062
固定資産合計	1,980,821	1,982,546
資産合計	6,070,125	6,209,814

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,813,100	1,590,179
短期借入金	800,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	97,290	84,990
未払法人税等	3,501	7,292
賞与引当金	32,137	19,027
その他	269,792	267,712
流動負債合計	3,015,822	3,069,202
固定負債		
長期借入金	92,725	68,325
退職給付引当金	723,947	783,089
役員退職慰労引当金	15,375	15,375
負ののれん	458,076	484,005
長期預り保証金	65,450	69,450
固定負債合計	1,355,573	1,420,244
負債合計	4,371,395	4,489,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,100	829,100
資本剰余金	648,925	648,925
利益剰余金	206,860	245,468
自己株式	△9,752	△9,752
株主資本合計	1,675,133	1,713,740
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,595	6,627
評価・換算差額等合計	23,595	6,627
純資産合計	1,698,729	1,720,368
負債純資産合計	6,070,125	6,209,814

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	8,621,483	11,414,587
売上原価	8,199,605	10,847,351
売上総利益	421,877	567,236
販売費及び一般管理費		
売上高割市場使用料	20,529	27,618
出荷奨励金	9,553	13,621
完納奨励金	23,460	27,032
運賃及び荷造費	62,845	86,420
保管費	42,946	47,420
役員報酬	9,984	9,801
従業員給料及び手当	156,504	229,260
賞与引当金繰入額	9,540	13,110
退職給付費用	11,527	9,475
福利厚生費	33,509	47,170
賃借料	15,943	21,552
租税公課	3,947	7,564
減価償却費	6,634	12,644
貸倒引当金繰入額	909	215
その他の経費	50,181	65,443
販売費及び一般管理費合計	458,017	618,349
営業損失(△)	△36,139	△51,112
営業外収益		
受取利息	559	1,077
受取配当金	58,820	7,182
受取賃貸料	15,900	15,300
負ののれん償却額	—	25,928
雑収入	1,109	1,707
営業外収益合計	76,389	51,196
営業外費用		
支払利息	5,934	3,668
賃貸費用	8,690	8,173
雑損失	0	0
営業外費用合計	14,624	11,842
経常利益又は経常損失(△)	25,624	△11,758
特別利益		
関係会社株式売却益	1,955	—
特別利益合計	1,955	—
特別損失		
固定資産除却損	1,942	—
特別損失合計	1,942	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	25,637	△11,758
法人税、住民税及び事業税	1,010	1,448
法人税等調整額	△2,336	6,604
法人税等合計	△1,326	8,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,964	△19,810

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。